



南中だより

令和6年12月10日発行

No. 16

沼田市立沼田南中学校

【学校教育目標(具体目標)】「英知」「礼節」「強健」

【自己を磨き、他に尽くす 尽くされたら感謝の気持ちを表そう】

小学生を町案内！ (11月22日)



第1学年では総合的な学習の時間に沼田市の歴史や文化について学習しています。今年度は、調べたことを生かして、沼田小学校の3年生を案内しようと計画しました。そこで講師の高山正先生(元歴史資料館館長)をお願いして現地でレクチャーしていただきました。当日は、班ごとに分かれて歴史にかかわる説明をしながら市内を巡りました。生徒の皆さんが優しく説明している姿はとても立派だったと思います。大変お疲れさまでした。



沼小の正門をスタート



小学生に丁寧な説明



大切な水路について

人権学習会 (12月4日)

本校では12月2日から10日を入権週間と位置付けて人権について考える機会を設けています。今年度は、利根教育事務所から講師の先生をお招きして高齢者の人権について考えました。アクティビティでは、耳をふさいだときの聞きづらさや軍手をはめたときの握みづらさなどの疑似体験を行いました。この体験から様々なことを感じる事ができ、一人一人が高齢者について正しく理解し、行動することの大切さを学びました。その他にも学校集会での人権学習や標語づくりなどによって意識を高められたと思います。これからも誰もが人権を尊重し合い、多様性を認め合うことで、しあわせを実感できる社会を目指していきましょう。



教育事務所 講師の話



お箸でつかむ体験



クリアファイル越しに見る

【生徒の感想：一部抜粋】

- ・体験を通して高齢者の方の気持ちを全然わかっていないことに気がきました。これからは周りの雰囲気にも気を使わず困っていたら助けたいです。
- ・高齢者の方たちは視覚や聴覚が衰えていくので苦労が絶えないと思いました。だから自分にできることがあるならばしたいと思います。
- ・ぼくも何か困っている人がいたら最後に見たビデオのように手伝ってあげたいと思いました。突然現れたあのおじさんはとてもかっこいいと思いました。
- ・私はおばあちゃんがいる三世帯世帯で「あれ取ってきて」とか「手伝って」と言われてイライラして強くあたってしまうことがありました。なのでおばあちゃん気持ちになって自分ももっと動かないといけないし、できることを考えていかないとなりました。